

第3回 大洲市復興推進協議会 記録

1 開催した日時及び場所

令和元年8月5日(月) 午後2時から午後3時35分まで
大洲市役所 2階大ホール

2 出席した委員(16人)

大洲市自治会連絡会議 会長	山内 勝之
大洲市自治会連絡会議 副会長	福山 保
大洲市自治会連絡会議 副会長	請田 竹男
愛媛県連合婦人会 会長	三好 康子
肱川愛あい会 会長	沖野 幸美
大洲市女性団体連絡協議会 会長	武内 八重子
大洲商工会議所 専務理事	平井 宏
大洲市観光協会 会長	藤岡 周二
愛媛たいき農業協同組合 代表理事専務	田淵 博幸
一般社団法人 大洲青年会議所 理事長	岡田 将太郎
大洲市教育委員会 教育長職務代理者	西山 千春
愛媛県南予地方局八幡浜支局 支局長	菊池 薫
国立大学法人 愛媛大学 社会共創学部副学部長	松村 暢彦
大洲市議会 議長	押田 憲一
大洲市議会 総務企画委員長	安川 哲生
大洲市議会 産業建設委員長	中野 寛之

3 欠席した委員(4人)

大洲市自治会連絡会議 副会長	東 信利
社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会 会長	福住 隆敏
国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所 所長	兵頭 英人(代理出席:阿部)
大洲市議会 厚生文教委員長	宇都宮 宗康

4 会議に出席した職員(7人)

大洲副市長	松田 眞	肱川地域復興支援担当部長	篠原 雅人
総務企画部長	栗田 浩治	復興支援課長	藤原 貴
防災安全部長	曾根 恭輔	復興支援課長補佐	谷野 秀明
建設部長	谷川 剛		

5 傍聴者の数

2人

6 議事

(1) 大洲市復興計画の進捗状況について

- ① 大洲市の被害と復旧・復興状況について . . . 資料 1
- ② 復興工程表（ロードマップ）について . . . 資料 2 - 1
災害公営住宅の整備方針 . . . 資料 2 - 2

(2) 大洲市復興計画地区別実施計画について

- ① 大川地区復興まちづくり計画（案）について . . . 資料 3
- ② 肱川地区復興まちづくり計画（案）について . . . 資料 4

(3) 今後の進め方について . . . 資料 5

(4) その他

※ 質疑応答については別紙のとおり

	1 開会
	2 あいさつ〔松村会長〕
松村会長	<p>3 協議事項</p> <p>(1) 大洲市復興計画の進捗状況について それでは、これより協議事項に移りたいと思います。 まず、1の被害と復旧・復興状況と2の復興工程表（ロードマップ） について、事務局の説明をお願いします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 谷野課長補佐〕</p>
松村会長	<p>ありがとうございます。ただいま、ご説明いただいた資料に関しま してご質問がございましたらよろしくお願いします。</p>
押田委員	<p>ロードマップの88項目において全ての項目がいつ終了するの でしょうか。</p> <p>また、大洲市の復興・復旧のスピードは他の地域と比べて早い のか、遅いのか、比較できない面もあると思いますがいかが でしょうか。</p>
藤原課長	<p>ロードマップの中にある項目は各事業期間においてスピード感を持 ちながら全力で取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>他の自治体の比較においては、宇和島市や西予市などについては問 い合わせをしてみますが、具体的な進捗状況についても確認していき たいと思います。</p>
松村会長	<p>他にありませんか。</p>
安川委員	<p>建築関係の業務が集中しているなどの問題もあると思うが、被災世帯 の生活再建は急ぐことでもあると思うので調査して進めてもらいたい。</p>
藤原課長	<p>公営住宅の入居期限が令和2年の8月になっていますのでその期限を 目指した整備を進めていきたいと思っております。</p> <p>建築業者も非常に多忙の中で被災世帯まで手が届かないということは 把握させていただいておりますが、その方々が災害公営住宅などにいら っしゃる場合におきましては、入居期限の方も国や県などと協力して要 望に応じていきたいと思っております。</p>

松村会長	<p>災害公営住宅に関しては被災者の方々のためにも注視して進めていただけたらと思います。</p>
武内委員	<p>知り合いの大工の件で、先程の件にも出ましたが、職人が少ない中で災害の復旧・復興のお仕事を休む暇なくやっていたが、体調が悪く病院に行ったら廃棄物のごみなどの影響もあって、腸に菌が入っていたとことで点滴をするなど入院をされております。このような場合は人災なのか、また、労災に当てはまるのでしょうか。</p>
藤原課長	<p>労働基準上の安全対策というのはそれぞれの業者が把握し対応しているかだと思います。そのような事例につきましては建築住宅課などとも連携できる面もあろうかと思っています。</p>
谷川部長	<p>建物の改修に関するホコリやごみなどということなののでしょうか。 そのようなことが労災などに適用できるのか確認させていただきたいと思います。</p>
岡田委員	<p>ロードマップの人口減少対策がなぜこの時期なののでしょうか。</p>
藤原課長	<p>応急仮設住宅の入居が令和2年の8月までということで、それ以外にも市外に賃貸住宅を構えている方もいると思いますし、何とか市内に帰ってきていただくことはできないかということでこのロードマップの期間を示しています。</p>
中野委員	<p>ロードマップの49番で待機児童の解消はどのような感じですか。</p>
藤原課長	<p>待機児童の解消についてですが、こちらは施設の復旧ということだけでまとめています。 保育所の復旧に関しては再編計画のほうで整備・検討していくこととなっています。</p>
中野委員	<p>ロードマップの53番の光回線の整備の検討についてなのですが、5Gなど進化していくと思いますがその点はどうでしょうか。</p>
栗田部長	<p>市民の生活のためには光の高速網が必要であるということで検討しようとして復興の計画の中に入れさせていただいております。</p>

<p>中野委員</p>	<p>現在、四国総合通信局やキャリアと話しているところで、今後肱川だけではなく、大洲市全体としてどのように進めていくかということを検討している段階であります。</p> <p>また、情報化計画として教育や防災の面におきましても内部で話し合いながら計画を立てていこうとしています。</p> <p>復興ということで以前よりももっと良くなるイメージが大切であると思います。</p> <p>最後に、ロードマップ68番の企業用地の確保と企業留置におきまして話を聞くなかで多くの要望があると思いますがどのようにお考えですか。</p>
<p>藤原課長</p>	<p>被災した企業などの移転など具体的な要望にお答えできるような形で商工産業課が中心となって、また、農林水産課とも協力しながら、対応していきたいと考えております。</p>
<p>松村会長</p>	<p>2番目にお話しいただいた高速情報通信網など、とても重要であると思います。この、高速情報通信網は教育や医療などにおいて、いかに活用していくのかという観点で検討していくことが必要であると思います。</p> <p>インフラの整っている地域とそうではない地域では教育の質などにおいても格差が出てくるというのは、これからの大洲にとって整備が整えば強みのある大洲になるのではないだろうかと思います。</p>
<p>西山委員</p>	<p>本日は、農協の田淵委員もいらっしゃっているので資料1の8番、9番のところで、ほとんどが施工完了や復旧がなされていますが、今年の農産物の生産量などどのような感じでしょうか。</p>
<p>田淵委員</p>	<p>今年は、復興元年ということで農業関連において、薬草の乾燥施設は本年8月末に完成予定、栗の選果機の方も8月下旬に再稼働予定としています。</p> <p>昨年の水害では野菜の作付けが難しく落ち込みました。当組合の愛たい菜と畜産物の販売高においては、60億円を目標としておりましたが、平成30年度末は50億円に落ち込みました。令和元年は60億円を目指して取り組んでいる中、本年度においては野菜類や果樹関係におきましても生産、販売もできており順調に推移できている状況であります。</p>

松村会長	<p>ありがとうございます。</p>
山内委員	<p>ロードマップ85番の自主防災組織関連の件においてどのような動きをしているのか、防災組織に対して自治会などに呼びかけはしているのかもわかりません。私の地域だけかもわかりませんが自主防災組織関連の呼びかけなどの報告はないのですか。</p> <p>また、自主防災組織に関しても今後どのような方向で進めていくのかも検討しているようですがそれも耳に入ってこない。天災など自主防災では防げないと思いますが、その際はどうしたら良いのか。どのような形で動いたら良いのかなど明確にして欲しいというのが私の希望です。</p> <p>また、このロードマップにおいては期間が早いようにも思いますが、この日程で完了できるのでしょうか。そして、自治会にも災害時におけるヒントなど頂けたらと思います。</p>
曾根部長	<p>自主防災組織は連絡協議会ということで各地域の自主防災組織の会長を集めて今年も開催させていただきました。</p> <p>大洲市では三善地区において避難カードを作らせていただきました。今回の三善地区では被害は出ませんでした。その取り組みをご紹介させていただくと共に、防災計画の策定をそれぞれの地区で取り組んでいただきたいと思います。</p>
山内委員	<p>私の、地元のことにはなりますが避難カードを高齢者の独居の全ての方々に渡しております。柚木の場合、世帯数も多く被害を受けた地域も多かったので避難カードも役に立ちませんでした。また、避難所も浸かってしまいました。避難指示が出る時には水量も増えており大雨の中、避難できません。その時に、独居の方を連れ出すことも難しいと思いますし、そのような指示は行政がしないとイケないのではないかと思います。それに加え、被害を受けていたら物資なども取りに行ける状況ではありません。</p> <p>また、各地区でも防災士がいると思いますが各地域の防災士同士で相談しようにもその防災士の名前も教えてくれませんでした。これは個人情報なので教えられないとのことでした。自主防災の見直しなど、助け合うためにはどうしたらいいか知っておく必要があると思います。</p> <p>そして、危機管理課は被害を受けた地域に行って聞き取り調査を実施して欲しいです。他の被害を受けた地域における最適な対策やアイデアなどもいろいろ教えていただきたいと思います。初めてのことであり</p>

<p>曾根部長</p>	<p>ますが、簡単に済ましてはいけない事象だと思います。</p> <p>自主防災組織におきましては動けた地域と動けなかった地域がありますが、それにつきましては毎年訓練を実施していますが、自主防災組織の役員が変わったことによつてうまく情報が引き継げなかったことがあります。</p> <p>今回、大洲市の方で計画を策定しているのは被害を受けました、肱川・菅田、肱南の一部も入っていると思います。そして、地区でのタイムラインを肱川、菅田、大川で作っております。その取り組みを各地域でやっていただきたいということで、山内副会長が言われた水害の時にどう逃げるのかということが1番心配なところでございます。避難所についてはいろんな公民館や集会所など指定をさせていただいております。</p> <p>神戸の町営住宅の話にはなりますが、水害で多くの方が亡くなられて、その街も十分な対策はしていただきたいと思います。雨が降って危ないので逃げまじょうとなっていました、ある住民は2階に逃げさせてくださいと言って、避難を呼びかけた人は2階も危険かもしれないということだったが結局増水してしまった。</p> <p>私達も災害の規模がわかっておりましたら指示することもできますが、時間が切羽詰まっている状況でありましたらその時は地域で判断していただくということも必要であると思います。行政としましては、とりあえずは水に浸からないところに逃げて下さい。それが実際に、垂直避難が良いのかどうなのかは現状難しいということをご理解ください。どこの地域に関しましても住民の方と一緒に避難路を決め、ここが適当だと考える必要があると思います。</p>
<p>山内委員</p>	<p>神戸の話もとてもよくわかりました。水害の時なども時間があるときは個人の判断も大切だと思いますがどうしたらよいかというヒントをください。</p>
<p>松村会長</p>	<p>自主防災などのアンケートをとったのならばまとめた上で、今後どうしていくのが良いのかを一緒に考えていくことが大切であると思います。</p> <p>タイムラインを作成して、特に意識の高い地域によっては実践的な取り組みが大切であると思います。防災計画も次々と見直しが行われていると思いますが、事業のための計画とは違うと思います。それが地域の方々の肝に入らないと行動の仕方がわからないと思います。</p> <p>やはり、行政は早めに避難して欲しいということで、自主防災組織の</p>

<p>松村会長</p>	<p>方々も思われると思います。それを、住民の方々が思われていることは誰が声をかけるのかということです。そこは自主防災組織の方や行政もあると思いますし、その機会も必要だと思います。</p> <p>大洲は、うまくやってきたと思いますが、それでも今回は非常に大きな災害であり被害が出た現実があります。もちろん、見直しも重要な一つであると思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>請田委員</p>	<p>ロードマップの82番で、これは市の全体の防災計画のことなのか、それぞれの地域の自主防災組織の単位なのか。まだ、策定されていない自主防災組織がほとんどだと思いますがまず、見直しの前に策定だと思います。</p> <p>現状、33の自治会があり自主防災組織も33組織あります。その中で、三善地区の自主防災組織が皮切りに策定されました。それを追隨してお互いを参考にしながら自分の地区の状況を加味しながら計画表を作っています。</p> <p>私の地元も、たたき台を作りまして現在、危機管理課の方に提出をしているといったことで、数か月経っても音沙汰がない。内容的には、お粗末な面もあると思いますが、専門的な観点から最適な方法を頂いて完成を早期に目指したいと思います。</p> <p>特に、この1年は災害復旧で忙しいとは思いますがこの返答が遅れ気味かなという感覚があります。次の災害に備えた、実際に行動ができる防災計画を、早期に33の自主防災組織を監督しておくといったことが課題であると思います。</p>
<p>曾根部長</p>	<p>自主防災組織で今年は、河辺地区や肱川地区も取り組んでいただくといったことで各地区が熱心に取り組んでいただいております。また、提出していただく時期が同じになりましたので、すべてのチェックがまだ行き届いておりませんが、修正する箇所がございましたらお返しいたしましてできるだけ早く作業を進めたいと考えております。</p> <p>なお、こちらのロードマップの82番は、大洲市全体が取り組む計画になっております。</p>
<p>松村会長</p>	<p>地元で行動できるような大切な計画だと思います。</p> <p>他、いかがでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、議事の2番目の方に移りたいと思います。</p>

<p>松村会長</p>	<p>(2) 大洲市復興計画地区別実施計画について 2の大洲市復興計画地区別実施計画についてご説明よろしくお願いたします。</p> <p>[会議資料に基づき説明 藤原課長]</p>
<p>松村会長</p>	<p>質問はありますか。 特にないようですので次に移りたいと思います。</p>
<p>松村会長</p>	<p>(3) 今後の進め方について 3の今後進め方について 説明お願いいたします。</p> <p>[会議資料に基づき説明 藤原課長]</p>
<p>松村会長</p>	<p>質問等ありますか。</p>
<p>押田委員</p>	<p>自主防災のメンバーについても厳しいかもしれないが1年、2年で入れ替わる地域が多いのではないかと思います。熊本の話にはなりますが、自主防災に1度入ったら構わない人は長年所属して地域の特性・内情を理解した者としての地域の強みや市民の内情、人との繋がりも生まれるのかなとは思っています。</p> <p>なかなか、難しいとは思いますが災害や地震とかに対しても自分らの地域は自分らで守るといったことも大切ではないかと思っております。</p>
<p>松村会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>様々な事例があると思いますが、それぞれの地域にあったやり方がいいのではないかと思います。大洲市全域では、「このやり方」というのは多分、通用はしないと思います。</p> <p>他に、ございますか。</p>
<p>西山委員</p>	<p>山内副会長が言っていた、防災士は愛媛県には東京に次いで全国2位の人数がいらっしゃるかと聞いています。大洲市での防災士がどの程度いらっしゃるのか。また、個人情報のこともあるとおっしゃっていましたがそれでは何の意味があるのかわかりません。各々の地域の方だけにでも教えていただくことは不可能なのでしょうか。</p>

<p>曾根部長</p>	<p>防災士の方は、個人情報にもなるので、出して欲しくないと言われましたのでそういう対応をしたのだと思います。</p> <p>地区内では、例えば新谷地区は防災組織に入って中心的な役割を任されているので言わなくても防災士であることはわかっています。</p>
<p>山内委員</p>	<p>私のところには、地域の防災士はおります。防災士の会長が危機管理課で、お互いが交流したい、意見を交換したいと言ったら、防災士の立場にいらっしゃる方は市の職員が多く、公表することはできないと言われました。</p> <p>会長は単独で防災士の知り合いのところに訪問したら、やめて欲しいとのことでありました。地域の防災士の名前くらいは出して欲しいうちの会長は希望していました。</p> <p>防災士はメンバーが変わるけど、連絡網について私は必要があると思います。</p>
<p>曾根部長</p>	<p>防災士の数がわかりましたので報告いたします。昨年の6月1日現在で260人となっております。</p>
<p>松村会長</p>	<p>私自身、防災士ではありませんが松山市の久米地区で定期的に防災訓練などが行われています。地域・地域の取り組みがあり関心を持たれることによって認識もできるのではないのでしょうか。そのためには行政も助けるべきところは助けるべきだと思っております。</p>
<p>松田副市長</p>	<p>地域の防災士でどのような形で活動していただくか、それぞれの防災組織の中で考えていただきたいと思います。防災士になられた方からも、講習も受けて知識も得たけどもだんだん忘れていってしまうので、自分自身のスキルアップも促していくことが大切です。</p> <p>個人情報の件は、私が考えますのは肱南地区の誰々という名簿を電子的に公開するのはそんなに問題ではないと思います。これを他の地区の防災士が住所、氏名、年齢、性別といったことになりましたら行政の方もきちんと情報管理する必要があると思います。</p>
<p>西山委員</p>	<p>山内副会長も、職員の方々も被災されている。本当に大変な災害でしたがそれぞれに宜しくお願い致します。</p>
<p>山内委員</p>	<p>失礼な言い方かもしれませんが私は、防災士には2回目の募集の時に通りました。全国には、防災士会があります。その防災士会には、所属</p>

<p>松田副市長</p>	<p>しないようにと言われました。全国の防災士会では情報交換しているのです。その道が閉ざされているのです。</p> <p>私は、5人の防災士会を作って勉強をしています。全国に防災士会へのチラシが来るからそれに入らない方向だと、根拠はわからないが来ても断りました。何らかの理由があると思うし入会しないで欲しいとのことがあったので止めました。</p> <p>いろいろなことがあったかもしれませんが、実際の防災士の皆さんが活動できやすいような環境を整えていけたら良いと思います。</p>
<p>三好委員</p>	<p>私の地域でも、何人かは防災士の資格を取っていただいております。防災訓練とか防災研修とか、開催しておりその際は防災士の方の時間の許す限りは参加していただいております。</p> <p>例えば、ワークショップなどにもリーダーとなっていていろいろと研修をさせていただいております。本当に助かっております。ただ、防災士の方がその都度、研修をするということにはまだ至っておりません。こちらは、公民館で防災士の方がリーダーとなって研修を行っていただいている現状です。研修も、継続が大切であると思います。</p> <p>余談ですが、個人個人について復興について関心があります。特に、地域の大川、肱川、柚木もそうですが大変な被害に遭いまして本当に気の毒だなと感じております。</p> <p>その地域に住む方はやはり元気がないと復興には繋がらないと思っております。大川の地域の女性の方は復興支援ということで皆さんに元気を出そうということで「おしゃべりカフェ」というのをやっておられます。お話をしている中で元気も出てくるということで、毎月やっておられます。先月も、大勢の方がいらっしゃって婦人会の方々が食べ物を作り、安価で販売といった形で地域の方々と交流をする。</p> <p>何はともあれ、地域の方が元気でそして役所の方にも助けていただいで復興に繋げていただけたらと思います。</p>
<p>松村会長</p>	<p>他はございますか。</p> <p>そもそも、大洲の防災力は高いはずです。これだけ、度々災害に見舞われている地域は全国的にも珍しいと思います。</p> <p>また、この大洲盆地というところは防災力からしたら日本の先進地域のはずです。だから、そこの知恵をもう一度結集するようにすれば既存の国から県に、市に、降りてくるような組織形態をとらなくてもよいのかなとは少しばかり思います。</p>

<p>松村会長</p>	<p>本当に地元の方々が災害において行動されているのは日本的にも珍しいと思います。月曜日の朝のニュースで皆さんが同じような形で掃除をされているのを拝見して素晴らしい地域だと思いました。</p> <p>(4) その他 その他でご質問等ございませんでしょうか。 無いようですので、事務局の方よろしくお願いいたします。</p>
	<p>4 閉会</p>